

陰陽五行論壘Contents

六十花甲子(庚)

六十花甲子

庚→車騎星の特質(行動力、勇敢、短気)

器は銳剛(スピード、直情)

- ・ 行動がはやく、何事にも迅速さを旨とする。
- ・ 動いている中で活路を見いだす。
(じっとしてては駄目)
- ・ 鍛えられる厳しい環境が必要。
- ・ 負けず嫌い。勝負事を好む。

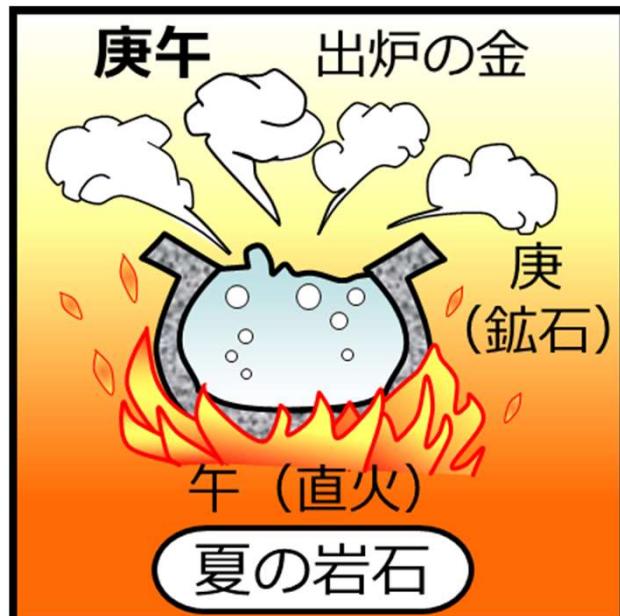
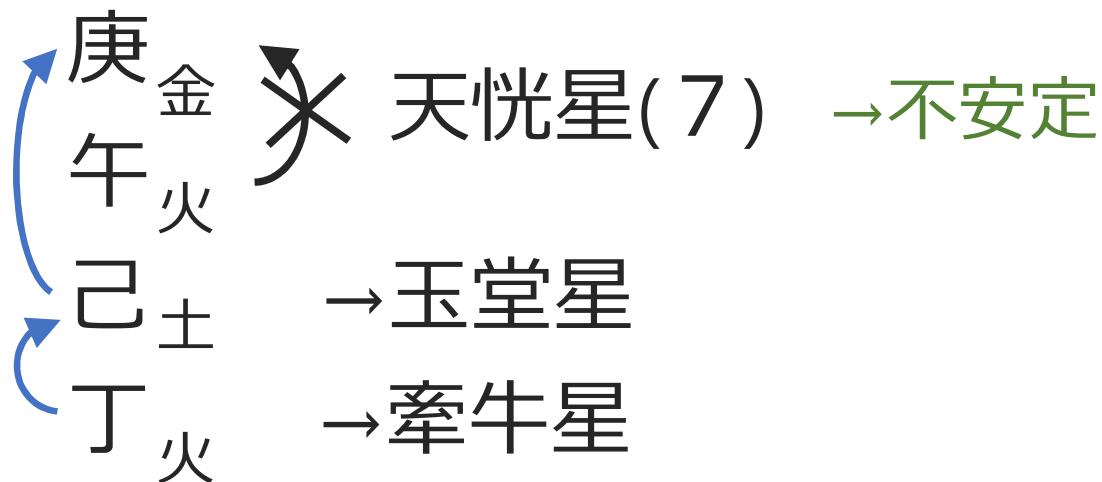
庚の種類

同じ庚でも組み合わさる地支によって特徴が異なる。



No.	名称	別名
7	庚午	出炉の金
17	庚辰	水路將軍
27	庚寅	絶中に生あり
37	庚子	沈む石
47	庚戌	陸路將軍
57	庚申	西方の金神

庚午～出爐の金



りたはく **離太白**

六親に縁薄く、名薈名声に恵まれる。
火で熱せられて溶けている金。
知的な活躍をして地位を得るが
苦労が多い。剋戦で働くかされる。

庚午～出炉の金

- 身強の場合は鍛えられる事が良い。
身弱の場合は、短命になる。

【例】

庚 辛 ○

根があり(庚一酉で天将星)。

午 酉 ○

火性で厳しく溶かされて
鍛えられ本人にとって良い。

辛
根

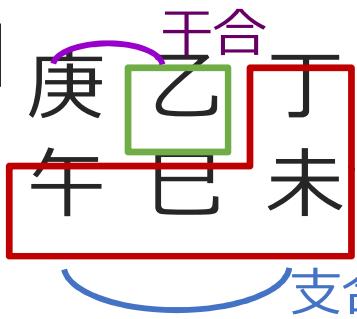
- 法律家・学者・芸術家の世界で大成する。

二十八元から天干への形が、火(丁: 牽牛星)→土(己: 玉堂星)
→金(庚: 出炉の金)だから。名誉と学問で支えられる。

庚午～出炉の金

- 庚午日は六十干支中で最も短命な星である。更に他の干支に木性・火性が重なると、救出不可能となる。

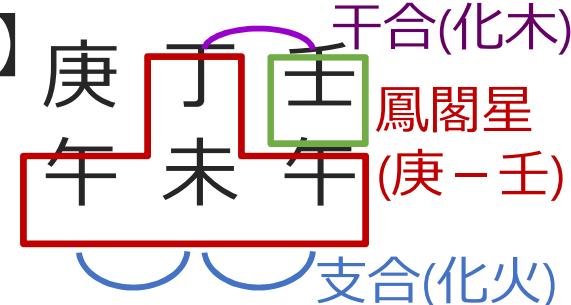
【例1】



乙は配偶者
木性は火を強める
結婚すると短命
(後述)

火性過多となり、姿を保てず
流れ出し、役割(才能・能力)が
あっても短命となる。

【例2】



寿命の星(鳳閣星)があっても
庚が溶かされ短命となる。

改良

水質の多い人との結婚

庚午～出炉の金

- 親の影響が強く出る。

親の湯加減一つで大成功(短命となる)
または不成功となる。



- 異性運は良くない。

配偶者である乙は木性で、自身を剋す火性を強化してしまう。



庚辰～水路將軍

庚 金
辰 土

乙 木

癸 水

戊 土

天印星(6) →優しさ、穏やかさ
相生、強い

→司祿星

→調舒星

→龍高星



しゅんこんじん **春金神**

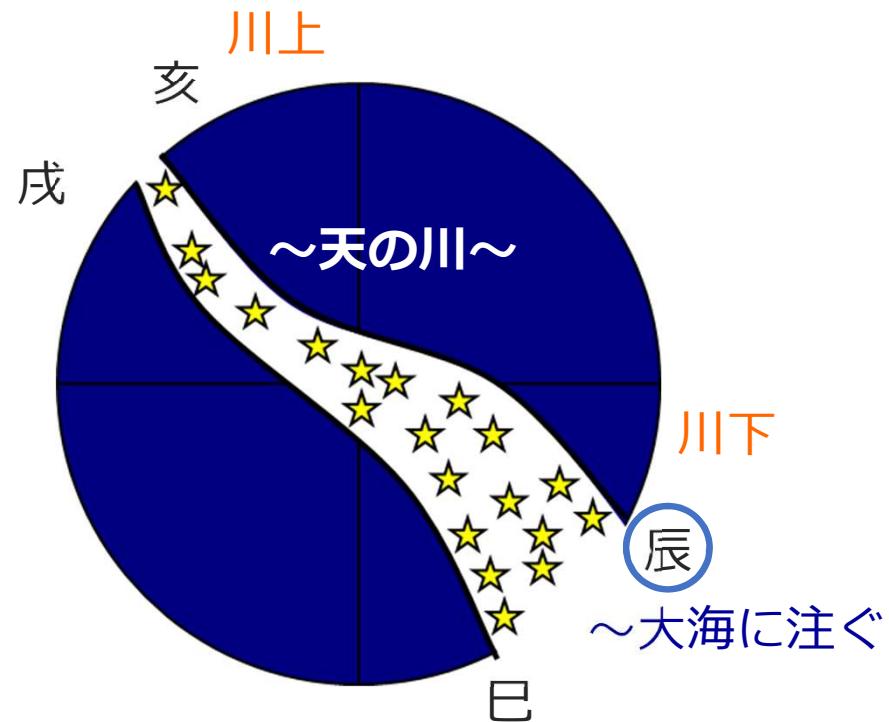
ごうほう らいらく
豪放磊落、自分だけの人生を進む。
豪放磊落とは、非常にざっくばらんな性格の様。天真爛漫で自由奔放な人。
人生を我慢することなく楽しく渡る。

庚辰～水路將軍



しっかりとした堅い岩石
～自由に動ける。

攻撃本能(庚)が広い海原
に出て行く様=水軍



庚辰は川下の大海上に注ぐ
位置に座している。

庚は元来戦いの神なので
水軍となる。

庚辰～水路將軍

- 酉の天将星を持つ者、勇敢なる資質を有し、敵を武力によって平定する(処世に勝ち、役割を得る)。

【例】庚 ○ ○

辰 酉 ○

			天将星

本能と実力の一一致

- 命式に貫索星・石門星があることを嫌う。自分が二人、三人居ることとなり、行動における決断力に欠け、迷いが多くなる。

【例】庚 ○ 庚

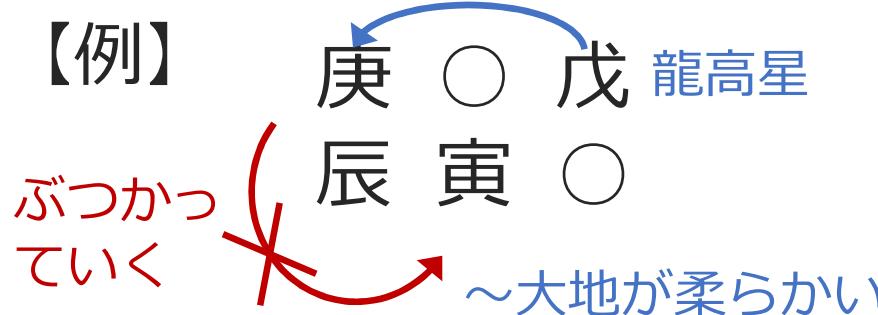
辰 ○ ○

兄弟・仲間

一人で物事を決める能力が弱まり
仕事・行動に迷いが出る。

庚辰～水路將軍

- 命式に戊と寅を見れば、有能な人材となり国家を動かすほどの人物となる。



春生まれの庚。
柔土の金性でスムーズに冒険・放浪が出来る人。

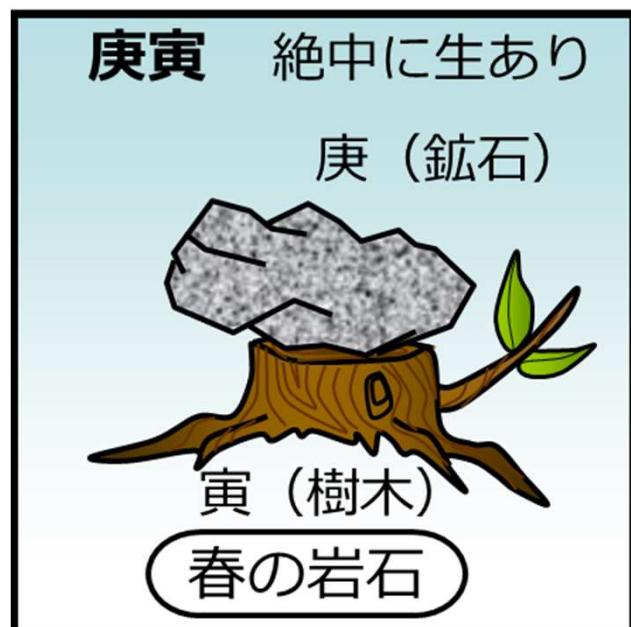
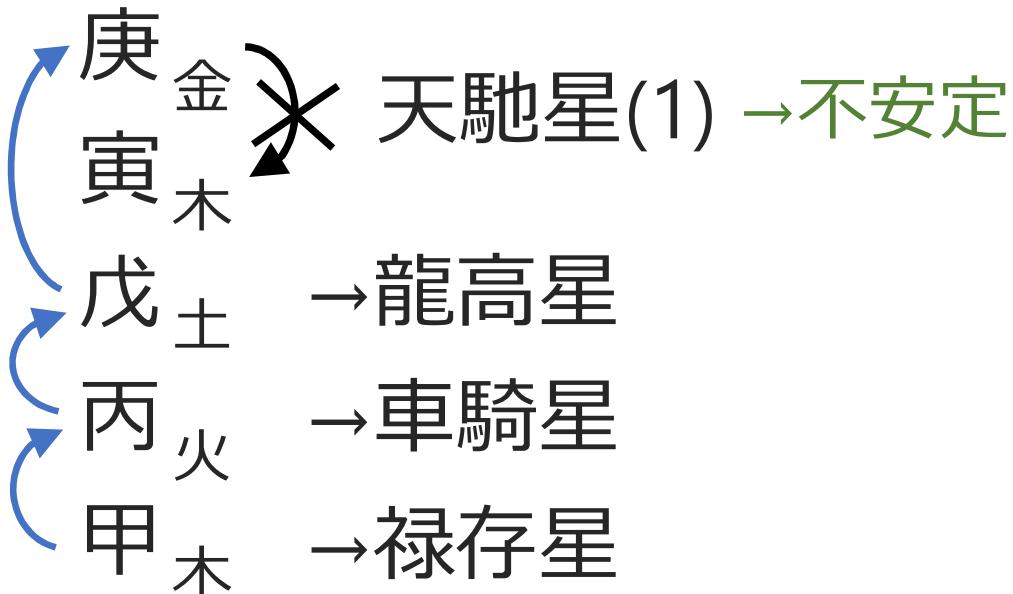
- 女命は家庭運を凶とし、戌・未の刑・冲を所有する者は、意志薄弱の者となる。



土多に庚が埋没してしまい、世の中の表舞台では能力が出せない。

改良 仕事を持ち、仕事によって人間性を磨く

庚寅～絶中に生あり

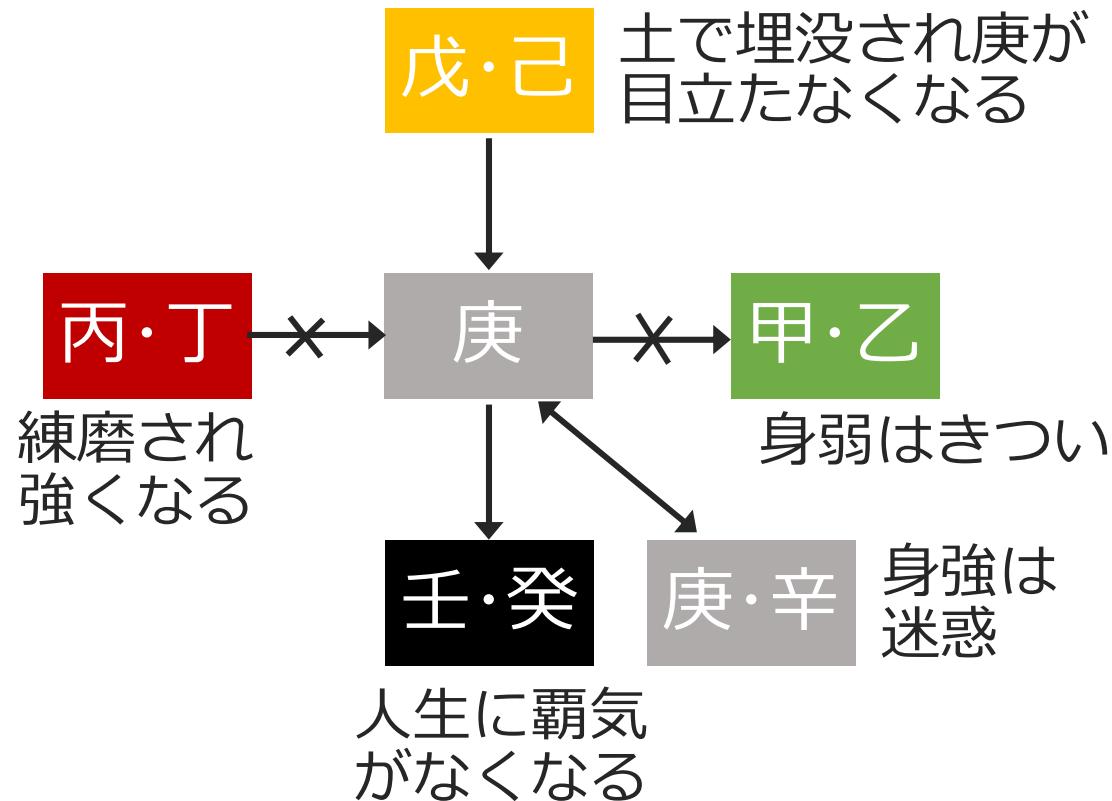


- 木性は切り株の為
真っ直ぐには
伸びてくれない
→不安定
- 甲→丙→戊→庚と
支えられている
→窮地での助け
故に「絶中に生あり」

死符
し ふ
本人の伸びは家庭の低迷。
乙丑に似ている(丑の情)
エネルギーは最弱(天馳星)でも
運は悪くなく、追い詰められ
ても最後には活路を見出す。

庚寅～絶中に生あり

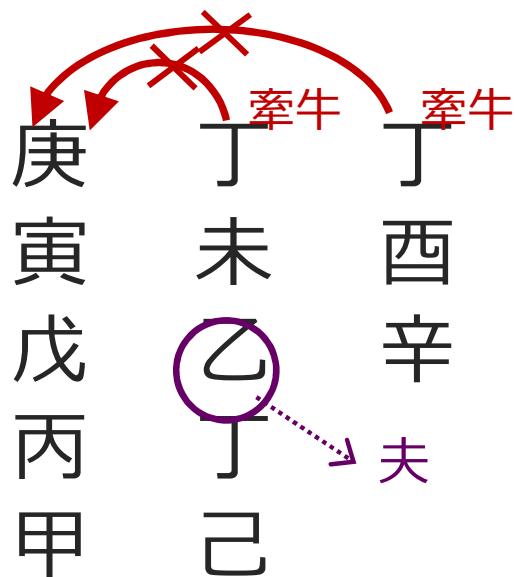
- 丙・丁の火性に練磨される事によって強くなり役に立つ人。
- 洩氣(壬・癸)は、霸気の無い人となる。



庚寅～絶中に生あり

- 他に庚・辛が在る者は、男女共(特に女性)結婚が一度では終わり難くなる。
- 女性で且つ子供がない場合は結婚は良好となる。

【例】大竹しのぶ(女性) 昭和32年7月17日



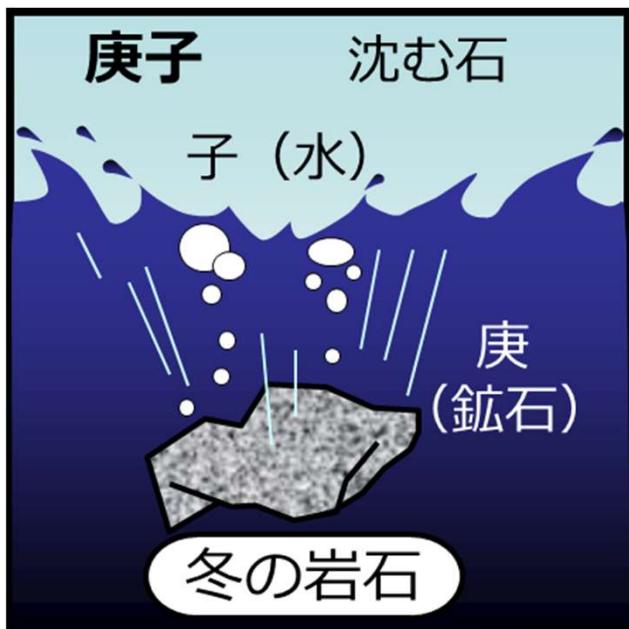
宿命中は子供は居ない。
しかし実際には居るので
人生に矛盾が起こりやすい。
内側(家庭)が壊れる。

庚子～沈む石

庚 金
子 水

天極星(2)

癸 水 → 調舒星



さいはく 歳白

結婚運が悪く、子供縁が薄い。ただ沈むのみの庚のあり様。強烈な火性、木性多の環境、土性多の環境に恵まれる事が救いとなる。故郷を離れ、自己主張を強くうち出し自信を持って生きることで成功する。

庚子～沈む石

- 庚にとって安住の地は無く(結婚すれば尚更)
このままではただ沈み、世に出ず役に立たない
人となる。

子一午の冲、子一未の害を必要とする。

※地支の子を冲と害で壊すことで、救いとなる。

【例1】

庚 ○ 壬
子 亥 ○

生涯、世に出難い(水多)。
世捨て人の様な生活で吉。

【例2】

庚 ○ 壬
子 午 ○
 ^
 冲

自ら浮かび上がり
本人にとっては良い。
冲の現象は配偶者に出る。

改良

故郷を離れ、自己主張を強く打ち出し
自信を持って生きることで成功する。

庚子～沈む石

- 配偶者運が悪く、配偶者に対し不平不満の多い人となる。

配偶者 = 子(水)で、自分を沈める人だから。

改良 火性の多い人との結婚をすること。

- 波乱に満ちた生涯、波乱の中で生きることで安住の地を得る。

庚子は自身そのものが不安定である。

従って不安定は不安定な生き方で順当となる。

庚子～沈む石

- 女性の場合、平凡なサラリーマンの妻には不向き。しかし、激しく忙しい職業の配偶者と共に生活し、働くことで見事な妻となる。
例.商家、八百屋、魚屋など

※庚からみて、丙・丁は車騎星・牽牛星が表出する。

改良

丙と丁を作り出すために、車騎星・牽牛星的な生き方を意識すること。

→懸命に働き、役目を全うする。

庚戌～陸路將軍

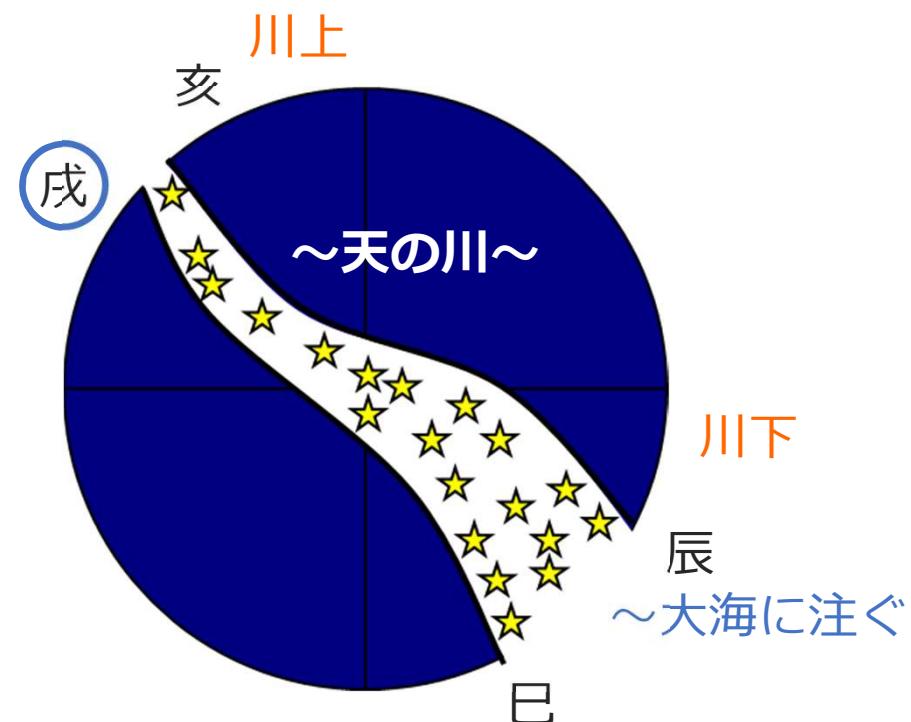
庚 金 → 天堂星(8)
戌 土
辛 金 → 石門星
丁 火 → 牽牛星
根 錬金 戊 土 → 龍高星



あらこんじん

荒金神

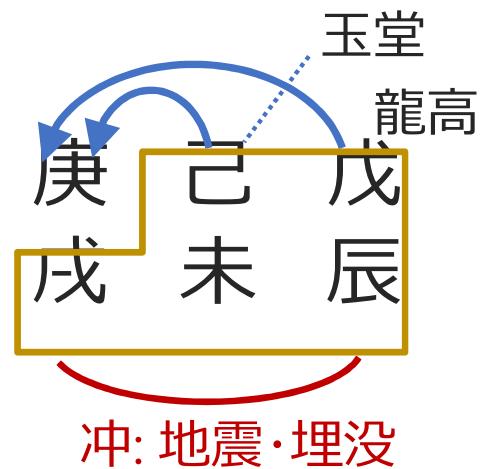
西方の金神。天門を守る鎮護の神。気質、性格が猛々しい。ざつくばらんな人。働き出したら休むことがなくなる。



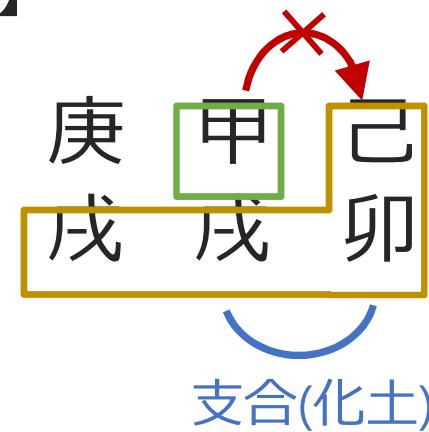
庚戌～陸路將軍

- 土多の宿命は「学土埋金」といい發展性の無い人間の典型となる(頭が良くとも役に立たず)。しかし甲の透干により、志高く大成する。
※木→土となり埋没しない。

【例1】



【例2】



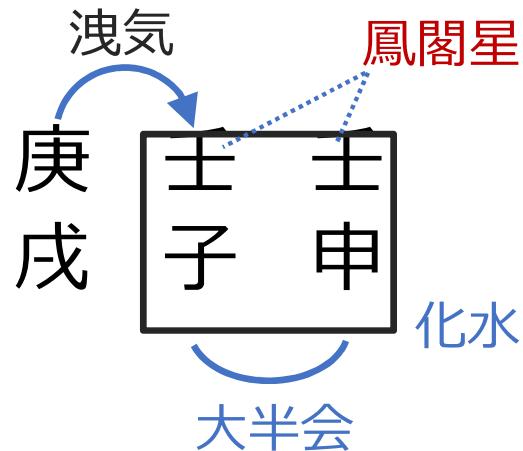
「学土埋金」
庚は土に埋もれ世に出ない。頭が良くとも役に立たない。

50%が土性だが
甲の働きが吉となる。
庚は埋もれない。

庚戌～陸路將軍

- 水多の宿命は身体が弱く、人生に霸気が無くなる。

【例】



庚が沈んでしまい
身体が弱まり
人生に霸気がない人。

- 辰の冲を極度に恐れ、人生の途中で挫折する。
地震で地割れが起き、埋没する。

【例】



庚戌～陸路將軍

- 巳月生まれは、年若くして発展し、早くしてこの世を去る。厳しい天貴星で成功(庚午にやや似ている)。

【例】

庚 ○ ○
戌 巳 ○

		天貴

庚
巳  地支から
剋される形

→厳しい環境で伸びる

【天貴星の組み合わせ】



- 庚一巳から生まれる天貴星は、天貴星の出る組み合わせの中で唯一、正当な厳しさを持って成功する星。
※戊寅は例外。専門のコースでの学習で理解する。
- 全ての天貴星は入魂の場所の為、素直に子供らしく育てるのが良い。
→前進するのみで、決して後戻りしない(真っ直ぐにすくすく育つ)。

庚申～西方の金神(こんじん)

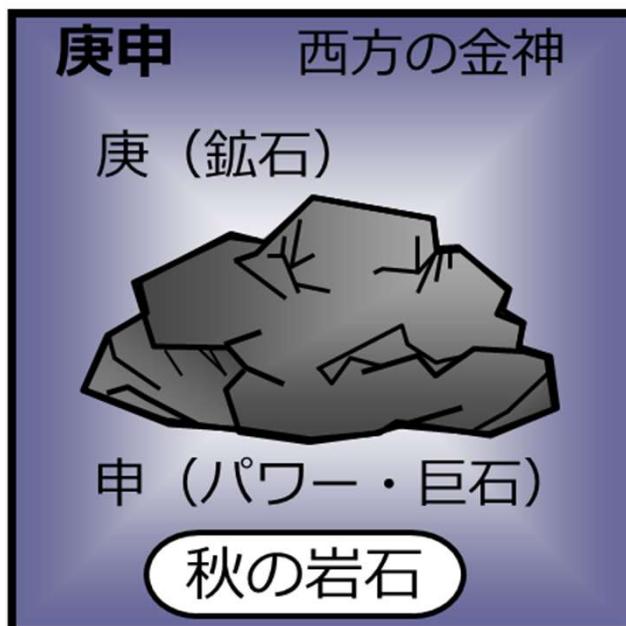
庚 金) 天祿星(11) →強い
申 金

戌 土 →龍高星

壬 水 →鳳閣星

庚 金 →貫索星

硬くて重い密度の高い岩石。
丁で溶かし、丁の補助に木性を
用いるのが良好。



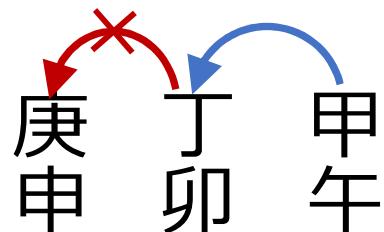
しょうこんじん **正金神**

戦いの神。荒神様の役割。町外れに
ある荒神塚(敵の侵入を防ぐ)。
軍人の役割に向く人。
攻撃的質が強く激しい気質を持つ。
直情型の人物。

庚申～西方の金神(こんじん)

- 金気の剛銳は見事なものがあり、丁(牽牛星)の制剋と甲(禄存星)の補佐があると「名利通達」と云い、財力・名譽名声に恵まれる人物となる。

【例1】



強い金性を鍛える丁
(牽牛=名譽名声)、
木性(禄存・司禄=財力)
の補佐に恵まれる形。

【例2】

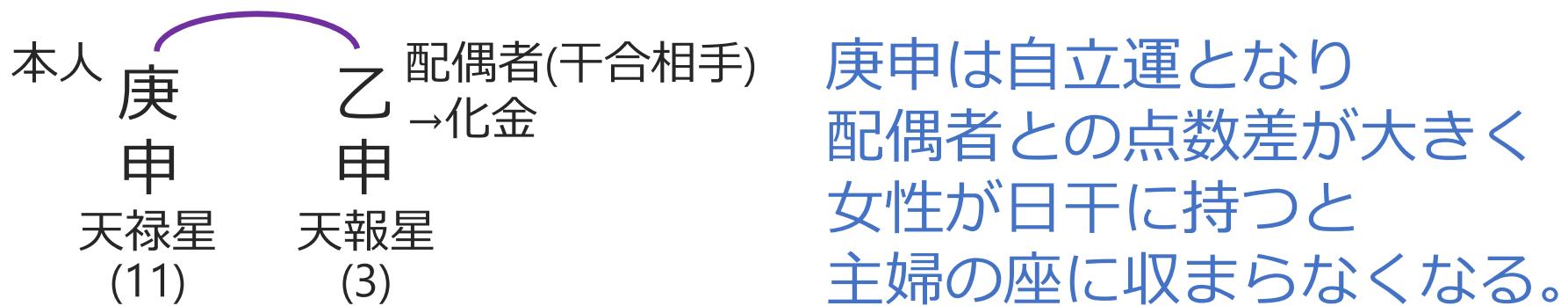


金は土に助けられ重くなる。土に埋もれ、時として悪知恵となる。

- 他の干支に土性が多くあると、金は埋没してしまい才能の発揮が出来ない(庚全てに共通)。特に女性は異性に恵まれず、結婚運が凶となる。

庚申～西方の金神(こんじん)

- 女性の庚申(日干)の場合
庚申(天禄)と己巳(天将)は結婚運の悪い代表干支。
 - ① 配偶者が変化しても本人は変化しない
 - ② 本人の力量が強い。



※庚申日柱は十二大従星では天禄星に座すが
そのエネルギーは天将星に匹敵する程の力量
(攻撃本能の固まりである為)がある。

庚申～西方の金神(こんじん)

【例】宿命を使って力量差を見る

※実際の夫の宿命ではなく、本人の宿命を使う

■妻

庚	乙	庚
甲	酉	戌

①

②

■夫

乙	○	○
甲	酉	戌

- ①日干は干合相手の乙
②地支は全て同じ

	地支	組合せ	点数
年	戌	庚-戌	11
月	酉	庚-酉	12
日	申	庚-申	8

31

	地支	組合せ	点数
年	戌	乙-戌	3
月	酉	乙-酉	1
日	申	乙-申	5

9

妻が31点に対して、夫は9点となり点数差が大きい。
→病弱な夫となる。